

個別の意見	取組の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に合ったメニュー、おいしいものを研究して欲しい ・小中一体化したことによって、それぞれの学校行事にマッチした行事食ができなくなっているのではないか ・働く親の就労支援の一助にもなっている ・弁当との選択制、必要な人へは経済的支援があることなど、制度や運用方法についての周知がさらに必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●メニュー、品質、行事食などきめ細かさに配慮してさらに充実を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・ハコモノだけでなく職員、指導員の身分保障を ・専門性のある職員を地域、利用者で育てる ・様々な子どもの事情に対応できるフコロの深い大人、居場所が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもを見守るスタッフの体制充実を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中の歩いていける場所に子どもの居場所、安心して遊べる場を ・ソフトな地域のつながりを ・住み心地の良い地域、便利な地域とは何かを考え直す ・地域のまつりの復活 ・児童館を減らしたり、安易に民間委託にしたりしないで欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の中での子どもの居場所をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校は部活などを考慮して学校を選択することがあっても良いが、小学生は一律で近くの小学校へ行くとしても良いのではないか。学校選択制は見直すべきではないか ・どうして近くの学校が選択されないことがあるのか？地域が魅力的で学校の敷居が低く、地域と学校がうまくつながっていれば、自然に近くの学校が選択されるはず。制度の問題ではないのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と学校のつながりを踏まえた見直しを図る
<ul style="list-style-type: none"> ・司書という専門職の評価を高める必要がある ・1校1名の配置、子どものいる時間帯には必ずいるなど、配置の充実 ・公共図書館との連携、国と連動し予算措置を要請するなどして配置を進めて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●司書だけでなく学校図書館全体の充実を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の連携の強化 ・大人が子どもの命を大切にしている姿を示す ・子どもの権利についての意識向上、条例の早期制定、子どもの権利を守る仕組みづくりを 	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域の中にある学校」という位置づけを強化する ●「学校でない」場、子どもを受け止められる「学校と関係ない」大人がいる地域づくり